

令和5年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

(単位:円)

| No. | 補助・単独 | 交付対象事業の名称 | 事業の概要(①②③④を必ずそれぞれの項目毎に明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 所管課 | 事業 初期 | 事業 終了 | A | | | | | | C | D その他 (一般財源や 補助対象外経 費等) | 成果目標(可能な 限り定量的指標を 設定) | 事業実施状況 | 効果検証 ①事業の成果、効果 ②事業の評価 | |
|-----|-------|----------------------------------|---|-------|----------|----------|---------------|-------------|-----------------------------|-------------------------|--------------------------------|---------------------------------|-------------|-------------------------------------|-----------------------------|--|--|---|
| | | | | | | | 総事業費 (決算額) | B | | | | B4 | | | | | | |
| | | | | | | | | 交付金充当額 | 国のR4予算分 (交付限度額 ①、②、③) | 国のR4予算分 (交付限度額 ④) | B3' 国のR4予算分 (交付限度額 ⑤) | B3'' 国のR4予算分 (交付限度額 ⑥) | | | | | | B4' 国のR4予算分 (交付限度額 ⑦、⑧) |
| | | | | | | | 408,868,805 | 329,393,261 | 2,386,000 | 0 | 0 | 166,613,715 | 155,130,000 | 5,263,546 | 0 | 79,275,544 | | |
| 1 | 単 | 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金【低所得者世帯給付金】 | ①コロナ禍における物価高騰等の負担感が大きい低所得世帯に対し、迅速な支援金の給付を行い負担軽減を図る。 ②扶助費 ③1世帯当たり30,000円×5,171世帯 =155,130千円 ④R5年度分の住民税均等割非課税世帯 | 社会福祉課 | R5.6.29 | R5.12.25 | 155,130,000 | 155,130,000 | | | | | 155,130,000 | 0 | 0 | 対象世帯の90%以上への支給 対象世帯数:5,736世帯 支給世帯数:5,171世帯 支給開始日:令和5年9月17日 支給終了日:令和5年12月25日 ・支給額 @30,000円×5,171世帯=155,130,000円 ・支給率 5,171世帯÷5,736世帯=90.15% | ①コロナ禍における物価高騰の負担感が大きい低所得世帯に対し、プッシュ型給付を導入し、迅速な支援金の給付を実現できた。 ②対象世帯の90.15%に支給することができ、成果目標を達成するとともに、多くの低所得世帯の経済的な支援につなげることができた。 | |
| 2 | 単 | 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金【事務費】 | ①コロナ禍における物価高騰等の負担感が大きい低所得世帯に対し、迅速な支援金の給付を行い負担軽減を図るにあたって必要な事務経費。 ②報酬、職員手当等、共済費、需用費、役員費、委託料、使用料及び賃借料 ③事務費総額 8,700千円 会計年度任用職員報酬 882千円 職員手当等(常勤職員時間外勤務手当) 1,260千円 会計年度任用職員期末手当 142千円 会計年度任用職員共済費 182千円 需用費(消耗品、印刷代) 638千円 役員費(郵送料、振込手数料) 1,979千円 委託料(システム改修、申請書等作成) 1,861千円 使用料及び賃借料(情報機器使用料、備品使用料) 1,756千円 ④R5年度分の住民税均等割非課税世帯 | 社会福祉課 | R5.6.29 | R6.3.6 | 5,263,546 | 5,263,546 | | | | | 5,263,546 | 0 | 0 | 対象世帯の90%以上への支給 対象世帯数:5,736世帯 支給世帯数:5,171世帯 支給開始日:令和5年9月17日 支給終了日:令和5年12月25日 ・支給額 @30,000円×5,171世帯=155,130,000円 ・支給率 5,171世帯÷5,736世帯=90.15% | ①コロナ禍における物価高騰の負担感が大きい低所得世帯に対し、プッシュ型給付を導入し、迅速な支援金の給付を実現できた。 ②対象世帯の90.15%に支給することができ、成果目標を達成するとともに、多くの低所得世帯の経済的な支援につなげることができた。 | |
| 7 | 単 | 小中学校給食費補助金 | ①給食費の原材料価格の高騰分(教職員は除く)について補助することにより、給食費の値上げを抑え、コロナ禍における原油価格・物価高騰等により影響を受けている保護者の負担が増さないようにする。 ②各学校の給食費会計への補助金に充当 ③小学校一食当たり15円×2,820人×200日=8,460千円 中学校一食当たり15円×1,396人×200日=4,188千円 ④生活者(保護者) | 学校教育課 | R5.7.19 | R5.8.15 | 12,560,415 | 12,560,415 | | | 12,560,415 | | | 0 | 0 | 給食費の値上り0% 小学校9校の児童延べ560,570食 中学校4校の生徒延べ276,791食の補助金を交付 | ①給食費の保護者負担の軽減に寄与した。 ②保護者負担を増やすことなく給食提供が実施でき有効であった。 | |
| 8 | 単 | まちの300クーポン事業(重点交付金活用分) | ①1,000円の買い物に対し、次回から使える300円のクーポン券を配布し、消費を喚起することにより、コロナ禍における原油価格・物価高騰等により影響を受けている生活者の支援をする。No.9事業と同一事業。 ②事業を実施する茅野商工会議所への補助金に充当 ③総事業費80,700千円のうち78,314千円に重点交付金を充当補助金80,700千円 (内訳) クーポン分 @300円×240,000枚=72,000千円 広告宣伝等事務費 8,700千円 ④生活者 | 商工課 | R5.9.22 | R6.3.29 | 71,030,545 | 71,030,545 | | | 71,030,545 | | | 0 | 0 | 配布したクーポンの利用率90% No.9と合算 まちの300クーポン事業を実施する茅野商工会議所への補助金 73,416,545円 (内訳) ・クーポン券換金費 65,150,400円 ・印刷代 3,163,336円 ・広告代 638,000円 ・雑費 681,018円 ・人件費 3,783,909円 計73,416,663円のうち 補助金73,416,545円 預金利息118円 | ①換金額65,150,400円 利用率(換金率)90.48%で目標を上回った。 ②取扱店舗数329店舗、回遊率81.25%となり、事業者からの評価はほとんどが高評価であり、事業者支援に繋がったと評価している。 | |
| 9 | 単 | まちの300クーポン事業(重点交付金活用分) | ①1,000円の買い物に対し、次回から使える300円のクーポン券を配布し、消費を喚起することにより、コロナ禍における原油価格・物価高騰等により影響を受けている生活者の支援をする。No.8事業と同一事業。 ②事業を実施する茅野商工会議所への補助金に充当 ③総事業費80,700千円のうち2,386千円に通常交付金を充当補助金80,700千円 (内訳) クーポン分 @300円×240,000枚=72,000千円 広告宣伝等事務費 8,700千円 ④生活者 | 商工課 | R5.9.22 | R6.3.29 | 2,386,000 | 2,386,000 | 2,386,000 | | | | | | 0 | 0 | 配布したクーポンの利用率90% No.8と合算 まちの300クーポン事業を実施する茅野商工会議所への補助金 73,416,545円 (内訳) ・クーポン券換金費 65,150,400円 ・印刷代 3,163,336円 ・広告代 638,000円 ・雑費 681,018円 ・人件費 3,783,909円 計73,416,663円のうち 補助金73,416,545円 預金利息118円 | ①換金額65,150,400円 利用率(換金率)90.48%で目標を上回った。 ②取扱店舗数329店舗、回遊率81.25%となり、事業者からの評価はほとんどが高評価であり、事業者支援に繋がったと評価している。 |

| No. | 補助・単独 | 交付対象事業の名称 | 事業の概要(①②③④を必ずそれぞれの項目毎に明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 所管課 | 事業 始期 | 事業 終期 | A | | | | | | | | | | 成果目標(可能な限り定量的指標を設定) | 事業実施状況 | 効果検証 ①事業の成果、効果 ②事業の評価 | |
|-----|-------|-------------------|---|-------|----------|----------|---------------|-----------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|-------|--------------------------------|---|---------------------|---|--|---|
| | | | | | | | 総事業費 (決算額) | B | | | | | | | | C | | | | D |
| | | | | | | | | B1 国のR4予算分 (交付限度額 ①、②、③) | B2 国のR4予算分 (交付限度額 ④) | B3 | | B4 | | 国庫補助額 | その他 (一般財源や 補助対象外経 費等) | | | | | |
| | | | | | | | | | | B3' 国のR4予算分 (交付限度額 ⑤) | B3'' 国のR4予算分 (交付限度額 ⑥) | B4' 国のR4予算分 (交付限度額 ⑦、⑧) | B4'' 国のR4予算分 (交付限度額 ⑨、⑩) | | | | | | | |
| 16 | 単 | 学校施設エネルギー価格高騰対策事業 | ①長野県は寒冷地であることから、年間を通じてコロナ禍におけるエネルギー価格高騰の影響を強く受ける。学校を支援することにより、教育環境の低下を防ぐ。 ②エネルギー価格高騰による燃料費及び光熱水費の上昇分に充当 ③エネルギー価格高騰による上昇分を、令和5年度の単価とエネルギー価格高騰前の令和3年度の単価との差に使用量をかけて算出。 小学校 3,000千円×9校＝27,000千円、中学校 4,500千円×4校＝18,000千円 ④小学校9校、中学校4校 | 学校教育課 | R5.4.1 | R6.2.29 | 81,260,867 | 20,732,798 | | | | | | | | 0 | 60,528,069 | 教育環境低下による体調不良者数0 ・市内小学校、中学校の児童、生徒が利用する学校(小学校9校、中学校4校)におけるエネルギー価格高騰による燃料費、光熱水費の上昇分に充当 小学校(9校)、中学校(3校) 計13校分 20,732,798円 | ①エネルギー価格高騰の影響を受ける学校施設について、エネルギー価格上昇分に本交付金を充当することにより、教育環境の低下による体調不良者の発生を回避できた。 ②教育環境の維持を図るための事業であり、大変有効であった。 | |